

B-1 半透明衣料の色彩効果に関する研究

(第1報)

—アンダードレスによる色彩調整—

奈良女大家政 山崎 勝弘
岡山就実短大 ○吉田 敏子

1. 半透明衣料には裏地またはアンダードレスを用いるのが常識である。本研究はこのような常識に基づき、アンダードレスによる色彩効果を積極的に応用し、新しい色彩美を演出するための基礎実験である。

2. 半透明衣料の色として純色に近い赤、橙、黄、緑、青の5色、アンダードレスの色として500カラーカードの中から赤、橙、黄、緑、青、黒、白の7色を選び、以上12色をカラーコンピュータ(400分割坐標)により色度を求め、次に半透明衣料とカラーカードとを重ね合わせたものについて同様の方法により色度を求め、更にCIE系色度図上に色点をとり、主波長(λ_d)刺激純度(P_e)の転移状況を吟味、比反射率(Y)のグラフから明度変化を吟味検討した。

3. アンダードレスの代用としてのカラーカードの上にはシルクジョーゼットを重ねた時の色彩は測色値も視感上においても融合混色効果を現わした。この場合上層と下層の色が近似色ならば融合色の彩度低下は少なく、上下の色が補色または準補色の関係にある時は著しく彩度低下を生じる場合が多い。また上下の色が密着した部分と遊離した部分とでは可成りの色差が認められたが、着装状態においてはこれら两部分が漸進的に連続し、いわゆるグラデーションの色彩効果を現わす。本実験結果により半透明衣料のカラーデザインに一つの計画性を与えることができれば幸いである。